

温度計の使い方

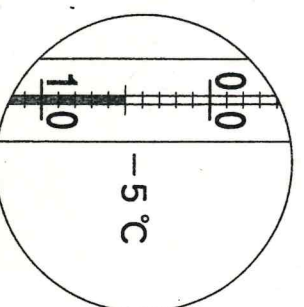
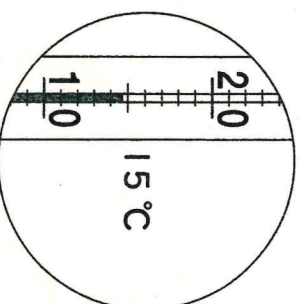
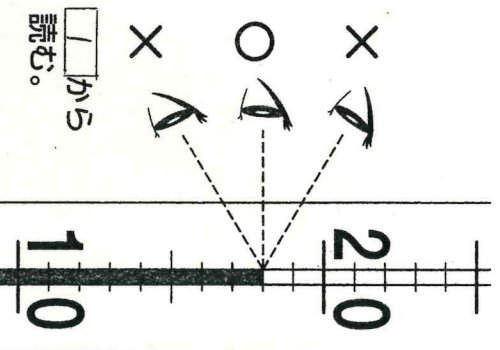
使う前の点検

- えきがとちゅうで切れているものは、使わない。
- ひびが入っているものは、使わない。

使い方

- ① 温度計の上のほうを持ち、はかりたいものに温度計のえきだめを入れる。
- ② えきが動かなくなったら、目もりを□□から読む。

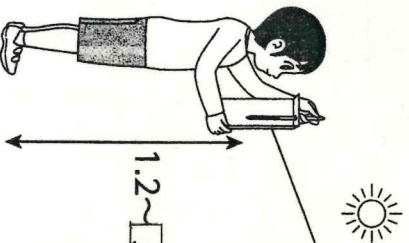
目もりの読み方



えきの先が目もりの線と線の間にあるときには、近いほうの目もりを読む。

0℃よりも低い温度は、^{ひく}「れいど何度」という。上のような場合は、「れいど5度」と読む。

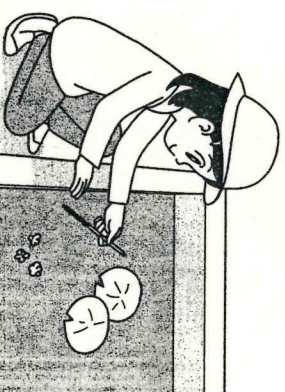
気温のはかり方



おおいをして、
□□が温度計に直せつ
当たらないようにする。

まわ
周りがよく開けた
風通しのよいところで
はかる。

水温のはかり方



日光が温度計に直せつ
当たらないように、
自分の□□に入れてはかる。

1 真横

2 日光

3 1.5

4 かげ